

カウンセラーだより NO4

2017年9月 西本郷中学校 スクールカウンセラー 村上博

■詩のコーナー

できたら

谷川 俊太郎



笑顔で微笑んでほしい / できたら / 愛に我を忘れて
その瞬間のあなたは / 花のように自然で / 音楽のように優雅で
そのくせどこかに / 洗い立ての洗濯物の / 白々の香りをかくしている

かけがえのない物語を生きてほしい / できたら / 小説に騙されずに
母の胸と / 父の膝の記憶を抱いて
涙で裏切りながら / 涙に裏切られながら
鏡の中の未来の自分から / 目をそらさずに



時を恐れないでほしい / できたら / からだの枯れるときは / 魂の笑るとき
時計では刻めない時間を生きて / 自に見えぬものを信じて
情報の渦巻く海から / ひとしずくの知恵をすくい取り / 猫のようにくつろいで

眠ってほしい 夢をはらむ夜を / 目覚めてほしい 何度でも初めての朝に

信じられるもの

昔、私が関わっていたフリースクールに、マー君(仮名)という生徒がいた。彼は、みんなが掃除や片づけをしていると、必ずいつの間にかいなくなった。

ある日、大太鼓を運んでいた女子たちが、通りかかったマー君に「手伝って」と声をかけた。無視して立ち去ろうとする彼に、「重い荷物をもった女の子が助けを求めているんだから、逃げちゃだめでしょ」というと、「先生、女が男よりも力がないとは限らないよ。実際あいつらは僕よりもずっと力がある」、彼はそう言って行ってしまった。

そんなマー君が突然変わった。みんなと一緒に仕事を手伝うようになったのだ。いったい何があったのか？本人に聞いてみると、彼は恥ずかしそうにこんな話をしてくれた。

—ある日、校内を歩いていると、女子が一人でテーブルを片付けているのに出会った。彼は、何を思ったのか、何もいわれないのに手伝った。そして、テ-

ブルと一緒に運び終えたとき、その子がとってもいい笑顔で「ありがとう」といってくれた。それがすごくうれしかった。

いつもは頼まれても逃げてしまいう彼が、なぜそのとき手伝ったのか。それが一番の謎だった。しかし、よく考えてみると私たちに、は、「いつもの自分」よりも、ちょっと「いい自分」でいられる、そんなときが確かにある。

それは多分、私たちの中に「こんな自分でありたい」という願いがあるからだと思う。願っているから、「いつもの姿」から「願い」の方に向けてジャンプする。彼のそのときの行動も、そんなジャンプの結果実現した彼の「願いの姿」だったのだと思う。

きっと彼の中には、「誰かの役に立つ自分でありたい」という願いがあったのだ。

そして女の子の「ありがとう」は、彼の「願いの姿」をタイムリーにキラキラと照らしてくれた。だから彼は変わったのだ。



↓ ウラにつづく、ウラもみてね。

私たちは、自分に対しても、他者に対しても、「いつもの姿」だけがその人だと思いついてしまふ。その人の「願いの姿」をうかつにも見のがしてしまうのだ。

しかし、ジャンプするたびに、「いつもの自分」の場所に落ちこちるにもかかわらず、やっぱり私たちは、願いに向けてジャンプし続けている。だから、今でも時々「いつもよりもちょっといい自分」でいられることがある。



私は、「願いの姿」も含めてその人だ、と考えた方がいいと思う。自分に対しても、他の人に対しても……。そうすれば、自分や自分と同じように弱い面やダメなところのある他の人間を信じることができるし、それぞれが、「願いの姿」に向けてジャンプするのを応援することができるから。

ほう 訪 問 よてい び 予 定 日	* 9月19日(火)全日 * 9月22日(金)全日 * 9月29日(金)全日 * 10月 6日(金)全日
	* 10月13日(金)全日 * 10月20日(金)全日 * 10月27日(金)全日 * 11月10日(金)全日
	* 11月17日(金)全日 * 11月24日(金)全日 * 12月 1日(金)全日 * 12月 8日(金)全日
	* 12月15日(金)PM * 12月22日(金)全日
	※ 全日は、基本的に9:30から18:00まで。PMは、13:30から18:00までです。

にしほんごうちゅうがっこう そうだんび
西本郷中学校での相談日：

基本的に毎週**金曜日**です (AM9:30~PM6:00)



ほごしや みなさま
保護者の皆様へ

- ◎ 「最近なんだか子どもの様子が変だ」「子どもにどのように接していいかわからない」などと言った、子育ての悩み、お子さんのこと、ご家庭のことなど、ぜひお気軽にご相談ください。
- ◎ 相談を希望する場合は、どの先生にでもその旨を伝えていただくか、金曜日に相談室直通電話にお電話ください。電話番号は、045-892-1996です。留守の場合は、留守電に電話番号など録音していただければこちらからかけなおします。
- ◎ 「学校に相談に行くのは、子どもの目もありちょっと・・・」という場合は、区役所2階にある子ども家庭支援相談(045-894-3790)にお電話いただければ、面接の予約ができ、区役所で面接を受けることができます。(私は、毎週水曜日に区役所にいます)。